

伊豆の国市総合計画審議会委嘱式及び第1回審議会 概要

開催日時	令和3年10月11日（月）午後1時30分から午後4時0分まで
開催場所	伊豆の国市役所あやめ会館3階多目的ホール
開催の趣旨等	<p>伊豆の国市総合計画審議会は、伊豆の国市総合計画審議会条例に基づき開催する。審議会の役割は以下の3点</p> <p>(1) 総合計画を策定する際に調査や審議をすること。</p> <p>(2) 総合計画に進行管理について意見を述べること。</p> <p>(3) 総合計画に密接に関連する重要な施策について意見を述べること。</p> <p>今回は、上記(2)、(3)の規定に基づき以下の2点について意見をいただくために開催する。</p> <p>①第2次総合計画前期基本計画の評価について</p> <p>②第2期総合戦略進捗管理について</p>
<p>令和3年度第1回伊豆の国市総合計画審議会の結果</p> <p>(1) 開 会</p> <p>(2) 委員紹介</p> <p>(3) 会長選任</p> <p>(4) 会長あいさつ</p> <p>(5) 議 事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長進行により、議事を進めた。 ・議題とする以下の事項について、事務局より説明を行った。 <p>① 第2次総合計画前期基本計画の評価について</p> <p>② 第2期総合戦略進捗管理について</p> <p>会長はこれら議題について、委員一人ひとり発言を求めた。</p> <p style="padding-left: 40px;">※発言は別紙のとおり</p> <p>各委員からの発言後、市長に講評を求めた。</p> <p>【市長講評（要旨）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皆さんから貴重な意見を聴くことができた。このような機会を設けることができ良かった。 ・市からの情報発信。これが重要であると感じた。市がやっていることが市民に届かなければ、その後のフィードバックもない。フィードバックがなければよい改善ができない。 ・市からの情報発信を効率的に、それもわかりやすく、一元化を含め強化していくことが大事 ・今日いただいた意見をよく整理させていただき、情報協共有させていただく。 ・できることは計画策定を待ってからでなく、やれることはもっと早くやっていく。 <p>以上をもって、議事を閉じ、会長は進行を事務局へ戻した。</p> <p>(6) その他</p>	

10月11日開催 第1回総合計画審議会
委員からの発言取りまとめ

「●」＝特に伝えたいこと 「・」＝現況や特に伝えたいことの補足等

委員名	要旨	該当する基本方針							全体
		1	2	3	4	5	6	7	
委員A	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業・小規模企業振興基本条例の制定や、早期に創業支援計画の認定を受けていただいたことを評価する。 ●最重要課題は事業継承。事業主の高齢化が進んでいるが、事業主には関心が薄い。非常に手間がかかる問題なので支援してほしい。 		◎						
委員B	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の課題は高齢化・後継者不足。 ●新規就農に向けた支援では、補助金だけでなく、農業の魅力の発信が必要。 		◎						
	<ul style="list-style-type: none"> ●市民が市の特産品の応援できるような体制があると良い。 ・女性や若者との話し合いの場がほしい。 		◎						
	<ul style="list-style-type: none"> ●被災した農業事業者に対し、事業継続のための支援がほしい。 ●森林の水源涵養機能保護のため、太陽光パネルは、設置だけでなく管理についても行政で指導してほしい。 	◎							
委員C	<ul style="list-style-type: none"> ・伊豆長岡は団体観光で成功した温泉地。 ・現在は観光の多様化が進み、個人観光へ変化しており、ニーズに合わせて変化する必要がある。 ・旅館ごとにターゲットが違うため、温泉場としてのプロモーションが難しい。 				◎				
	●地元農産物と観光を結びつける仕組みがあれば良い。		◎	◎					
委員D	●文化財の展示場所がない。				◎				
	●観光での活用だけでなく、教育面での歴史遺産の保全・周知も厚くしてほしい。				◎				
	●長岡保育園・幼稚園のこども園化を進めてほしい。					◎			
委員E	●教育総合センターを設置してほしい。				◎				
	・ボランティアが不足している。							◎	
	・人を増やすには、仕事づくりからではなく、まちづくりからはじめたほうが良い。								◎
	●どこへでも公共交通機関で行けるような、交通インフラの整備がされると良い。							◎	
	●市民が主体となって住みやすいまちにする方法を立案、実行することを行政が支援するまちにしたい。								◎
●市民活動センターを設置してほしい。								◎	
●市に対し、住みやすいまちにするための方法について気軽に相談できる場所がほしい。								◎	
委員F	・2020年時点では、総合計画における人口予測より減少が少なく、人口が多い結果となっていることを評価してほしい。								◎
	●スポーツを行うことで健康寿命の延伸や生きがい・仲間づくりにつながる。福祉や生涯学習など、横断的な取組を行ってほしい。スポーツ協会を活用してほしい。					◎			
	・スポーツを活用した取組として、自らの住むまちの新たな魅力を発見できる、ロゲイニングなどがある。					◎			
	●公共施設の維持・存続をお願いしたい。							◎	
	●子育て世帯・ひとり親の相談窓口として、地域で助け合えるお互い様の地域づくり体制ができると良い。							◎	
・職員も地域の声を聞いてほしい。								◎	
委員G	・総合計画には山木遺跡にもふれてほしい。					◎			
	・一人暮らしの高齢化が増加する中、新型コロナウイルスによる自粛により、高齢者の認知機能・身体機能の低下を懸念。						◎		
●将来にわたって福祉サービスを受けることができるような社会にしてほしい。							◎		
委員H	●アナウンスの一元化が必要。						◎	◎	
	●子育てモバイルやSNSを活用した情報発信が強化されると良い。						◎		
	●子育て世代が参加できる仕組みづくり。窓口だけでなく、メールやLINEで意見を伝えられるようになると良い。								◎

委員名	要旨	該当する基本方針							全体
		1	2	3	4	5	6	7	
委員I	●子育て世代がどこに相談に行けばいいかわからない。 ・子育て中の悩みを一元的に相談できる窓口がほしい。					◎			
	●情報発信を工夫してほしい。 ・新型コロナウイルスにより、急速に少子化が進んでいる。少子化の加速に伴い、保育園は量の確保ではなく、質の向上にシフトしている。					◎		◎	
	●自然環境の魅力的なまちだが、交通が危ないため、子どもが外出しにくい。子どもが安全に移動できる道路、自由に外遊びできる環境の整備が必要。 ・自転車道路の整備を進めてほしい。結果、子どもの安全な移動に繋がる。	◎		◎					
	●近所の大人による子どもたちの見守り体制があると良い。				◎				
	●質の高い保育・教育を提供するための人材の確保が必要。				◎	◎			
	●中高生と保育・幼稚園が交流する機会があると良い。					◎			
	●障がいをもった子や乳幼児を市が手厚くみてあげる体制づくりが必要。 ●園給食で地産地消を行うためのつながりづくりが必要。					◎			
委員J	・世代別の伊豆の国市の暮らしを総合計画に記載したらどうか。								○
	●交通インフラを活用してはどうか。							◎	
	●市街地から離れた地域・山間地を維持していくことも大事。 ・伊豆半島における伊豆の国市の立ち位置を記載したらどうか。					◎			○
	●障がいやDVの課題など、単身高齢者の生活課題がよく問題に上がる。福祉的な家庭の悩みなどを相談できる窓口がとても重要。						◎		
委員K	・消防団の成り手不足が深刻。 ・地域における少子化が進んでいる。 ・子どもたちが地元に戻ってこない。 ●進学を機に市外へ出た子どもたちを地元へ引き戻すための発信力の強化。					◎		◎	
	委員L	●歴史や自然など、めぐまれた地域の特性を生かしたまちづくりが求められている。大河ドラマもチャンスの一つ。 ・人口の動態などさまざまな統計の数値を長いスパンで分析し、判断することが必要。				◎			
委員M	●地域を良くしようとするひと・団体との連携があると良い。				◎			◎	
	●健康と体験を結び付けた観光はどうか。				◎			◎	
	●観光や移住など、HPへの動画掲載など発信力の強化が必要。				◎			◎	
委員N	●結婚・出産支援と子育て環境の充実は一連の取組であり、横断的に取り組むべき。				◎				○
	●県外に出た子どもが地元に戻らないのは、地元の魅力を感じていないからでは。子どもたちに自分のまちのファンになってもらうための取組が重要。そのためにも、観光、農業、スポーツなどにおける学校との連携が必要。					◎		◎	○
	●SNSを活用した情報発信が強化されると良い。 ●地域資源を生かした観光づくりを進めてはどうか。				◎	◎		◎	
委員O	・市のような小さな自治体は、やれることから取り組んでいくほうが良い。								○
	●地域を良くしようとするひと・団体との連携、市民や団体をつなげることが重要。							◎	
	・審議会に出た意見は、係長や担当者で委員が直接やりとりしたほうが内容が伝わる。								○

10月11日開催 第1回総合計画審議会

1. 基本方針ごとの発言者数

- 基本方針1 2人
- 基本方針2 3人
- 基本方針3 5人
- 基本方針4 7人
- 基本方針5 7人
- 基本方針6 4人
- 基本方針7 8人

2. 基本方針ごとの発言内容

「●」＝特に伝えたいこと 「・」＝現況や特に伝えたいことの補足等

基本方針1に関するご意見

要旨
●森林の水源涵養機能保護のため、太陽光パネルは、設置だけでなく管理についても行政で指導してほしい。
●自然環境の魅力的なまちだが、交通が危ないため、子どもが外出しにくい。子どもが安全に移動できる道路、自由に外遊びできる環境の整備が必要。 ・自転車道路の整備を進めてほしい。結果、子どもの安全な移動に繋がる。

基本方針2に関するご意見

要旨
・中小企業・小規模企業振興基本条例の制定や、早期に創業支援計画の認定を受けていただいたことを評価する。 ●最重要課題は事業継承。事業主の高齢化が進んでいるが、事業主には関心が薄い。非常に手間がかかる問題なので支援してほしい。
・農業の課題は高齢化・後継者不足。 ●新規就農に向けた支援では、補助金だけでなく、農業の魅力の発信が必要。
●市民が市の特産品の応援できるような体制があると良い。 ・女性や若者との話し合いの場がほしい。
●被災した農業事業者に対し、事業継続のための支援がほしい。
●地元農産物と観光を結びつける仕組みがあれば良い。

基本方針3に関するご意見

要旨
・伊豆長岡は団体観光で成功した温泉地。 ・現在は観光の多様化が進み、個人観光へ変化しており、ニーズに合わせて変化する必要がある。 ・旅館ごとにターゲットが違うため、温泉場としてのプロモーションが難しい。
●地元農産物と観光を結びつける仕組みがあれば良い。
●自然環境の魅力的なまちだが、交通が危ないため、子どもが外出しにくい。子どもが安全に移動できる道路、自由に外遊びできる環境の整備が必要。 ・自転車道路の整備を進めてほしい。結果、子どもの安全な移動に繋がる。
●歴史や自然など、めぐまれた地域の特性を生かしたまちづくりが求められている。大河ドラマもチャンスの一つ。
●地域を良くしようとするひと・団体との連携があると良い。
●健康と体験を結び付けた観光はどうか。
●観光や移住など、HPへの動画掲載など発信力の強化が必要。
●SNSを活用した情報発信が強化されると良い。
●地域資源を生かした観光づくりを進めてはどうか。

基本方針4に関するご意見

要旨
●文化財の展示場所がない。
●観光での活用だけでなく、教育面での歴史遺産の保全・周知も厚くしてほしい。
●教育総合センターを設置してほしい。
●スポーツを行うことで健康寿命の延伸や生きがい・仲間づくりにつながる。福祉や生涯学習など、横断的な取組を行ってほしい。スポーツ協会を活用してほしい。
・スポーツを活用した取組として、自らの住むまちの新たな魅力を発見できる、ロゲイニングなどがある。
・総合計画には山木遺跡にもふれてほしい。
●近所の大人による子どもたちの見守り体制があると良い。
●質の高い保育・教育を提供するための人材の確保が必要。
●園給食で地産地消を行うためのつながりづくりが必要。
・伊豆半島における伊豆の国市の立ち位置を記載したらどうか。
・地域における少子化が進んでいる。 ・子どもたちが地元に戻ってこない。
●進学を機に市外へ出た子どもたちを地元へ引き戻すための発信力の強化。
●結婚・出産支援と子育て環境の充実は一連の取組であり、横断的に取り組むべき。
●県外に出た子どもが地元に戻らないのは、地元の魅力を感じていないからでは。子どもたちに自分のまちのファンになってもらうための取組が重要。そのためにも、観光、農業、スポーツなどにおける学校との連携が必要。

基本方針5に関するご意見

要旨
●長岡保育園・幼稚園のこども園化を進めてほしい。
●子育て世帯・ひとり親の相談窓口として、地域で助け合えるお互い様の地域づくり体制ができると良い。
・一人暮らしの高齢化が増加する中、新型コロナウイルスによる自粛により、高齢者の認知機能・身体機能の低下を懸念。
●将来にわたって福祉サービスを受けることができるような社会にしてほしい。
●アナウンスの一元化が必要。
●子育てモバイルやSNSを活用した情報発信が強化されると良い。
●子育て世代がどこに相談に行けばいいかわからない。 ・子育て中の悩みを一元的に相談できる窓口がほしい。
●情報発信を工夫してほしい。
・新型コロナウイルスにより、急速に少子化が進んでいる。少子化の加速に伴い、保育園は量の確保ではなく、質の向上にシフトしている。
●質の高い保育・教育を提供するための人材の確保が必要。
●中高生と保育・幼稚園が交流する機会があると良い。
●障がいをもった子や乳幼児を市が手厚くみてあげる体制づくりが必要。
●障がいやDVの課題など、単身高齢者の生活課題がよく問題に上がる。福祉的な家庭の悩みなどを相談できる窓口がとても重要。
●SNSを活用した情報発信が強化されると良い。

基本方針6に関するご意見

要旨
●どこへでも公共交通機関で行けるような、交通インフラの整備がされると良い。
●公共施設の維持・存続をお願いしたい。
●交通インフラを活用してはどうか。
●市街地から離れた地域・山間地を維持ししていくことも大事。
・消防団の成り手不足が深刻。

基本方針7に関するご意見

要旨
・ボランティアが不足している。
●市民が主体となって住みやすいまちにする方法を立案、実行することを行政が支援するまことにしたい。
●市民活動センターを設置してほしい。
●市に対し、住みやすいまちにするための方法について気軽に相談できる場所がほしい。
・職員も地域の声を聞いてほしい。
●アナウンスの一元化が必要。
●子育て世代が参加できる仕組みづくり。窓口だけでなく、メールやLINEで意見を伝えられるようになると良い。
●情報発信を工夫してほしい。
・地域における少子化が進んでいる。 ・子どもたちが地元に戻ってこない。
●進学を機に市外へ出た子どもたちを地元へ引き戻すための発信力の強化。
●地域を良くしようとするひと・団体との連携があると良い。
●健康と体験を結び付けた観光はどうか。
●観光や移住など、HPへの動画掲載など発信力の強化が必要。
●県外に出た子どもが地元に戻らないのは、地元の魅力を感じていないからでは。子どもたちに自分のまちのファンになってもらうための取組が重要。そのためにも、観光、農業、スポーツなどにおける学校との連携が必要。
●SNSを活用した情報発信が強化されると良い。
●地域を良くしようとするひと・団体との連携、市民や団体をつなげることが重要。